

特集

部活のカタチ、新時代へ。

地域で支える部活動の新たなカタチ



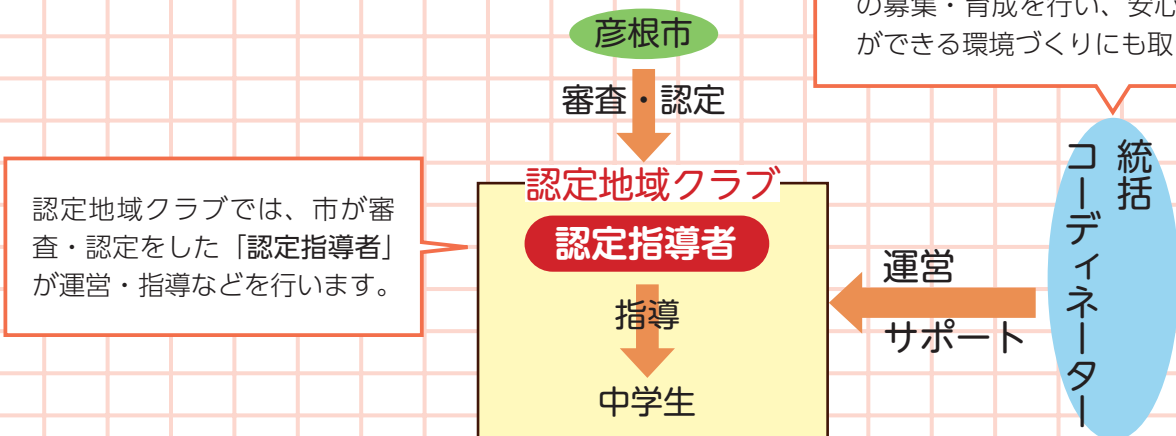
急速に進む少子化や学校における働き方改革の必要性から今、全国で部活動改革の取組が進められています。将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するため、彦根市においても部活動の地域展開を進め、令和9年8月から中学校の部活動を平日のみとし、休日の活動は「認定地域クラブ」での活動に展開していくことになりました。

問 学校教育課 ☎ 24-7973 📠 23-9190

認定地域クラブってなに？

学校部活動の教育的意義を継承・発展させるため、一定の要件を満たすクラブを「彦根市認定地域クラブ」と認定します。各中学校の生徒が主体的に参加でき、学校と連携し、生徒が安心して活動できる仕組みになっています。

学校や生徒、その保護者、指導者をつなぎ調整を行う「統括コーディネーター」を配置し運営をサポートします。また、指導者の募集・育成を行い、安心してクラブ活動ができる環境づくりにも取り組んでいます。



認定地域クラブでの活動のポイント

☑ 自分に合った活動が選べる！

平日の部活動とは違う種目を選べたり、自分の通う中学校にはないスポーツ・文化芸術活動を選択できたりします。また、休日は他の活動や習い事などに組みたいという場合は、無理に参加しなくても問題ありません。



活動場所

主に市内各中学校の施設で活動します。人数や活動内容によってはプロシードアリーナ HIKONE や平和堂 HATO スタジアムなど学校以外の施設で活動する場合もあります（必要に応じて保護者の送迎）。



参加費用

競技や所属するクラブによって異なりますが参加費用は必要です。詳細は彦根市ホームページに掲載予定です。



大会やコンクールにも出場可能！

（公財）日本中学校体育連盟の大会や吹奏楽コンクールなどはこれまで通り、学校部活動として出場予定です。現在、登録などの手続きをして地域クラブが大会に出場しているケースもあります。

実証事業としての取組

令和3年度から稲枝中学校区の8つの運動部活動が、令和5年度からは水泳と剣道の2種目が、実証事業として休日の地域クラブ活動を先行して取り組みました。



＼教えて！統括コーディネーター／ 彦根市の部活動地域展開のリアル

学校と認定地域クラブの「橋渡し役」となる統括コーディネーター。今回は、市の統括コーディネーターを務める（一社）彦根市スポーツ協会の日夏さんに、彦根市の部活動の地域展開について教えてもらいました。



統括コーディネーター
彦根市スポーツ協会
日夏さん

Q. 「認定地域クラブ」として、どのような環境づくりを目指していますか？

彦根市の部活動の地域展開のポイントは、生徒の自主的・主体的な参加による活動であることです。そして、安心して活動できる安全な環境づくりが大切です。子どもたちがそれぞれのペースで、成長できる場所を目指しています。

Q. 運営を進めるうえで見えてきた「これからの課題」は何ですか？

大きく分けて2つの課題があると感じています。まずは保護者の送迎や参加費用の負担についてです。学校での部活動に比べ、どうしてもご家庭にかかってしまう負担をどう軽減していくか。そして、文化活動への対応。現在、剣道・水泳・稲枝中学校のスポーツの部活動が実証事業により認定地域クラブ化していますが、スポーツだけでなく「吹奏楽などの文化活動がしたい」という子どもたちの声を受け止め、活動できる場所をつくっていく必要を感じています。

Q. 最後に、今後の部活動の地域展開への思いを聞かせてください。

活動する子どもたち、その活動を見守り応援する保護者と地域、そしてその活動を支えるスタッフ。この環境をつくるのが大切です。そのためにも、子どもたちがやりたいことに挑戦できる場所をしっかりとつくり、最終的に中学生や子どもたちだけでなく、大人も含めた「彦根市民みんな」が、いつでも気軽にスポーツや文化活動を楽しめるまちづくりを実現したい、そう願っています。